

平成29年7月7日

出雲市議会議長 様

会 派 名 平 成 ク ラ ブ

代表者氏名 長 廻 利 行 

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施致しますので届け出ます。

1. 日 程	平成29年7月13日 ～ 平成29年7月14日 (2日間)
2. 視察研修先 及び目的	7月13日 14:00～ 参議院議員会館 研 修 ① 観光庁・岡田良子 観光渉外官 「観光行政について」 ② 島根県東京事務所 古山所長 「東京事務所の果たす役割」 ③ 参議院議員 青木議員 「国内外状況について」 7月14日 9:30～ 衆議院議員会館・参議院議員会館 島根県選出細田先生・竹下先生・青木先生・島田先生 の4国会議員へ出雲市の課題についての要望活動
3. 参加者	長 廻 利 行 保 科 孝 充 宮 本 享 原 正 雄 西 村 亮 渡 部 勝 玉 木 満 計 7 名
4. 行 程	行程は次ぎのとおり 7月13日 午前・出雲空港—羽田空港 午後・参議院議員会館研修 14日 午前・島根県選出国会議員への要望活動 午後・羽田空港—出雲空港



行政視察報告書

出雲市議会議長様

平成29年 8月 7日

平成クラブ

代表 長廻利行



平成クラブで行政研修・国会議員への要望活動を実施しましたので報告します

研 修 名 等	平成クラブ行政研修、国会議員要望
視 察 議 員 名	長廻利行 保科孝充 宮本 享 原 正雄 渡部 勝 西村 亮 玉木 満
視 察 期 間	平成28年7月13日～14日
研 修 先 及 び 要 望 活 動	東京都・国土交通省観光庁職員等による研修
	東京都・参議院議員会館の島根県選出国会議員への 要望活動

研 修 所 感

7月13日(木曜日) 14:00~17:00 参議院議員会館 104会議室

- ・「観光の現状について」 講師 国土交通省・観光庁
岡田良子 観光渉外官

「日が沈む聖地出雲」として日本文化遺産に認定されたのを機会に、今後の観光行政のあり方について、国の観光行政の中核で活躍されている出雲市出身の岡田氏から講義を受けた。今、世界で観光が重視されているのは、「観光が雇用や企業の創出、社会基盤の開発を通じて社会経済の発展を牽引する重要な役割を果たしている」とされた。レジャー、ビジネスで観光に期待できること



は、地域イメージの向上、愛着、地域ブランド力・技術力の向上など、住んでよし、訪れてよしとして、地域・地元への貢献が大変大きい。 今後は日本版DMO（地域にある観光資源に精通し、地域と共同して観光地域づくりを行う法人）の力をつけ、行政が支援していくことが発展の大きな要素になるとされた。山陰のDMOでは「山陰インバウンド機構」等があるが、これを中心として内外へ発信していくことが重要と感じた。

また、出雲市の発展に向けて、『新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」』が着実に進むよう、観光の力で課題の解決に向けて貢献するよう助言された。

- ・ 「人口減少社会と地域経営」 講師 島根県東京事務所 吉山 治 所長

36年間、国・県・市行政に在籍された経験から「地方創生と人口減少について」の講義であった。地域づくりの原点は産業の振興、雇用の創出であり、「かせぐ力・お金の城内循環」が大切とされた。また、自然歴史文化産業等の地域資源に付加価値をつけることが大切であり、市民力、連携、ネットワークを活かした街づくりの必要性を強調された。議会へ対しては公選の重みと監視機能に加えた提案・コーディネート的重要性を訴えられた。

- ・ 青木和彦参議院議員からは、広域観光が産業の柱となることを説かれ、「日本遺産・日が沈む聖地出雲」「国引きジオパーク構想」「国立公園満喫プロジェクト」が山陰そして出雲の産業の柱になることを強調された。

7月14日(金曜日) 10:00~11:00 参議院議員会館 青木和彦事務所
島田三郎事務所

平成クラブ7人は、青木先生・島田先生二人の参議院議員事務所を訪問し、観光行政の推進について要望した。特に出雲市がすすめている「日本遺産・日が沈む聖地出雲」「国引きジオパーク構想」「国立公園満喫プロジェクト」について、ご支援をお願いした。

平成29年 6月21日

出雲市議会議長 様

会派名 平成クラブ
代表者氏名 長廻利行 

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成29年 7月19日 ~ 平成29年 7月20日 (2日間) 	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	東京都千代田区 内神田2-4-6 (株)社会保険研 究所	第13回地方から考える社会保障フォーラム
3. 参加者	宮本 亨 計 / 名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	

出雲市議会
29.6.27
第200号
受付

平成 30. 1. 19 日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

参加
代表者氏名 宮本 享

代表者氏名 長廻利行

視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	平成29年 7月19日 ~ 平成29年 7月20日(2日間)	
2. 視察研修先 視察研修目的	東京都千代田区 内神田2-5-3 (株)社会保険研究所	「地方から考える社会保障フォーラム」の受講
3. 参加者	宮本 享 計 1名 (他 名)	
4. 添付書類	1. 行程表 2. 報告書 3.	

30.1.19
644

(所 感)

今回、「地方から考える社会保障フォーラム」に参加した。

障がい者の就労について、生活保護について、社会保障全般について、地域共生社会や地域包括ケアシステムについての講義を受けた。

障がい者の分野では、65歳をむかえた障がい者が障がい福祉サービスから介護保険サービスに移行する場合の経済的負担の軽減策や、障がい者と農業の連携（農福連携）により就労支援を行っている事例紹介などの講義であった。

生活保護の分野では、高齢者の受給者が増え、生活保護費の約半分は医療扶助であること、生活保護世帯の子供たちの進学等についてなど講義を受けた。

社会保障全般の分野では、社会保障制度の持続可能性についての考え方や方法などの講義を受けた。

地域共生社会や地域包括ケアシステム等の分野では、厚生労働省の考える「我が事・丸ごと」についてや、システム構築に向けて「専門人材と住民・ボランティア」「医療と介護」など今後密接に連携しなければならないことなど、出雲市でも直面している課題についてタイムリーな話を聞くことができた。

今回のフォーラムは、それぞれの分野の内容と全体的な内容の両方を聞くことができ、総合的な方向性を考える上で大変参考になった。

今後の議会活動などに役立てていきたいと思う。

平成 29 年 6 月 20 日

出雲市議会議長 様

会 派 名 平成クラブ

代表者氏名 長廻 利行



視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成 29 年 7 月 28 日 ～ 平成 29 年 7 月 30 日 (3 日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	大韓民国 浦項市 エアポハン航空(株)	物流交流 縁結び空港へのチャーター便運航について
3. 参加者	長廻利行・西村 亮・原 正雄 計 3 名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	



平成 30 年 3 月 30 日

出雲市議会議長 様

会 派 名 _____ 平成クラブ _____

代表者氏名 _____ 長廻 利行 _____



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日 程	平成 29 年 7 月 28 日 ～平成 29 年 7 月 30 日（3 日間）	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	大韓民国 浦項市 エアポハン航空(株)	物流交通 縁結び空港へのチャーター便運航について
3. 参 加 者	長廻利行・西村 亮・原 正雄 計 3 名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 2. 報告書 3.	



(所 感)

今回、大韓民国浦項市李康徳市長から「第 14 回浦項国際花火祭り」の招待をうけ、平成クラブの西村 亮、原 正雄議員の 3 人が会派として、7 月 28 日から 30 日まで浦項市を訪問し、花火祭りの視察を始め、観光、経済交流などの取り組みについて意見交換会を行いました。

まず最初に、花火祭りのストリートパレードの通りに開設されている PR ブースで出雲市の PR のために、出雲の物産、地酒を浦項市民の方に紹介し、大変に好評でした。次回は出雲商工会議所食品部会等で販売することも検討されるということでした。

次に、出雲市から浦項市への直行便について、エアポハン航空(株)との意見交換会を行いました。出雲市から浦項市までは現在約 6 時間近くもかかるため、エアポハン航空(株)で国際線のチャーター便が開設できないかと打診したところ、出雲市から浦項市までの直行便だと約 1 時間余りとなり、観光、経済交流も活発になるので、利用客等を把握して検討したいとの回答をいただきました。

いずれにしても、インバウンド効果を推進していくためにも、一日も早い直行便の開設をすべきとの思いを強くしました。

平成 29 年 7 月 25 日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

代表者氏名 長廻利行



視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日程	平成 29 年 8 月 8 日 ~ 平成 29 年 8 月 10 日 (3日間)	
2. 視察研修先 視察研修目的	北海道苫小牧市役所	まちなか再生総合プロジェクト
	北海道小樽市役所	観光事業 (インバウンドなど) について
3. 参加者	長廻利行・宮本 享・保科孝充・西村 亮・原 正雄・渡部 勝 玉木 満 計 7 名	
4. 添付書類	1. 行程表	



行政視察報告書

出雲市議会議長様

平成29年 9月 11日

平成クラブ
会長 長廻利行

平成クラブで行政視察を実施しましたので報告します

視 察 名	平成クラブ行政視察
視 察 議 員 名	長廻利行 保科孝充 宮本 享 原 正雄 渡部 勝 西村 亮 玉木 満
視 察 期 間	平成29年8月8日～10日
視 察 先 及 び 調 査 事 項	北海道・苫小牧市役所
	北海道・小樽市役所
	北海道・札幌市中央卸売市場視察
<p>1日目（8月8日・火曜） 出雲市 ～ 羽田 ～ 新千歳 ～ 苫小牧 苫小牧市役所 苫小牧市まちなか再生総合プロジェクト視察 苫小牧～札幌 札幌市宿泊</p> <p>2日目（8月9日・水曜） 札幌～小樽 小樽市役所 小樽市観光行政・小樽運河視察 小樽～札幌 札幌市宿泊</p> <p>3日目（8月10日・木曜） 札幌市中央卸売市場視察 札幌 ～ 新千歳 ～ 羽田 ～ 出雲市</p>	



視 察 所 感

8月8日(火) ・ 苫小牧市役所・ 苫小牧市まちなか再生総合プロジェクト視察

人口 172,000 人、面積 561K m²、議員定数 28 人、29 年一般会計予算 753 億円
苫小牧市総合計画の目標を達成するために、活力ある産業と賑わいの街を実現する「苫小牧市まちなか再生総合プロジェクト」を設置した。人口減少、超高齢社会に対応、効率的な行財政運営、将来を見据えた接続可能な街づくりを願って様々な計画を立案・実現に努力している。苫小牧駅前を中心に、コミュニケーションの場提供、イベント開催の拠点整備、空き店舗活用、公共交通（バス）利用満足度調査、中心部への賃貸住宅建設者への一戸あたり 100 万円補助事業（国土交通省事業）などを実施し、市の活性化に大きな力となっている。評価指標をおき、「にぎわいの創出 5%増、公共交通 10%増、まちなか居住 5%増（28 年比）」を目指している。先進地といえる市には必ずキーマンがいる。民間で約 15 年間農業関係コンサルタント会社に勤務していた担当職員の説明と熱意に、市民から大きな期待が寄せられていると思った。

8月9日(水) ・ 小樽市役所・ 小樽市観光行政・ 小樽運河視察

人口 120,000 人、面積 243K m²、議員定数 25 人、29 年一般会計予算 553 億円
かつてはニシンを求めて暮らしていた人が多く、小樽を拠点に札幌など北海道の物流拠点基地としても発展していた。昭和 40 年には人口 20 万人に達していた。小樽運河は漁業拠点の基盤整備として大正 12 年に完成したが、漁業の衰退とともに、10 数年にわたる埋め立て論争の結果、一部埋め立ての折衷案で昭和 61 年に現在の運河が完成した。従来からの技術を生かした金属・食品加工品の生産、運河、そこに連なる石造り倉庫群、歴史的な建造物などを生かした観光地となり、「商工都市・観光都市」の性格を有している。しかし若い人を中心にして札幌方面への人口流失が多く続いている。職員も観光都市の発展を期して、東南アジア方面への PR 活動を熱心に行っている。特に海外からの観光入込客数が増加しており、平成 24 年度約 19 万人が平成 28 年度約 28 万人となり、観光行政にかける意欲が数字に現れている。小樽運河には、多くの外国人観光客が訪れており、出雲の実態と比較するとき、関係者のなお一層の努力が必要と感じた。

8月10日(木) ・ 札幌市中央卸売市場視察

札幌市約 200 万人の台所を潤す市場とあって、あふれる農産物・海産物と賑やかさに圧倒された。広大な約 130,000 m²の敷地に様々な店舗が並び、売り子の大きな声が飛ぶ。人口増加策が一番の大きな行政責任と、ここでも強く感じた。

平成29年11月1日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

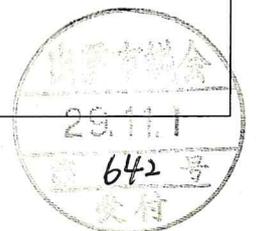
参加
代表者氏名 宮本 享 

代表者氏名 長廻利行 

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	平成29年11月15日 ~ 平成29年11月16日 (2日間)	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	東京都千代田区 内2-5-3 (株)社会保険研究所	「地方から考える社会保障フォーラム」の 受講
3. 参 加 者	宮本 享 計 1 名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表	



平成 30. 1. 19 日

出雲市議会議長様

会派名 平成クラブ

~~代表~~ 参加者氏名 宮本 享

代表者氏名 長廻利行

視察研修について (報告)

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	平成29年11月15日 ~ 平成29年11月16日(2日間)	
2. 視察研修先 視察研修目的	東京都千代田区 内神田2-5-3 (株)社会保険研究所	「地方から考える社会保障フォーラム」の受講
3. 参加者	宮本 享 計 1名 (他 名)	
4. 添付書類	1. 行程表 2. 報告書 3.	

30. 1. 19

645

(所 感)

7月に続き、「地方から考える社会保障フォーラム」に参加した。

今回は、健康経営と地方自治、児童虐待防止、少子化対策、厚生労働行政、地方財政の課題などの講演を聞いた。

どのテーマも、出雲市の抱える課題に対して直結するものばかりで大変勉強になったが、とりわけ健康経営と地方自治をテーマとした講演は、興味深い内容だった。

健康経営は欧米諸国ではすでに一定程度展開しているが、日本では後発の概念である。しかし近年、「アベノミクス」等を取り上げられ、いろいろな制度が動き出し、認知度が上がってきている状況にある。

健康経営優良法人認定制度もその一つである。2017年に認定された企業をみると、島根県内や出雲市内の企業の認定もあった。こういった企業を増やすことは出雲市にとって必要なことではないかと思う。

健康経営により従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践することで、地元企業の安定化や活性化につながり、若者が地元で就職することができ、定住化や人口減少の対策等になるのではないかと感じた。

現在、自治体首長有志が発起人の日本健幸都市連合には93自治体が参加しているようで、出雲市も参加について検討してみてはどうかと思った。

出雲市も人口減少は避けられないところだが、減少幅を如何に小さくするかがポイントになると考える。

今回の講演で学んだこともふまえ、今後の議会活動に役立てていきたいと思う。